

大豊建設／森下覚恵社長らが土木・建築現場をパトロール



現場を巡回する森下社長（写真中央、大豊建設提供）

大豊建設の森下覚恵社長は1日、同社が施工している千葉県浦安市内の物流施設新築工事と東京都内の水門耐震工事の現場を安全パトロールした。中村百樹取締役兼専務執行役員（中央安全衛生委員長）ら幹部も参加し、施工状況や現場の安全対策などを確認した。

視察した現場は日鉄興和不動産が進める「（仮称）LOGIFRONT浦安計画」と東京都発注の「日本橋水門耐震補強工事その3」。安全衛生方針に基づく現場管理が適正に行われているかなどをチェックした。

森下社長は新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策の徹底を要請するとともに「安全管

理に慣れは禁物。細部まで気を配り、無事故無災害を達成してほしい」と話した。安全で安心な職場環境を築くためにコミュニケーションの大切さも強調。「一方的な上から目線ではなく、互いに話し合い理解し合うことが大切だ。職場や現場では常に明るく仲間と接し、相手を思いやりながら作業を進めてほしい」と呼び掛けた。